

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの報告は2例(6歳, 30歳～39歳)で, 第43週以降連続して報告があります。全国の定点当たり報告数は0.50で, 3週連続増加しており, 過去5年間の同時期と比べ, かなり多い値となっています。流行の指標として使用されている定点当たり報告数 1.0を超えた都道府県は, 北海道(3.57), 沖縄(3.09), 和歌山(1.14), 富山(1.08)及び神奈川(1.01)の5道県となっています。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.17(7例)で, 第40週以降連続して報告があります。本年の累積報告数は50例で, 昨年(29例)より多くなっています。年齢階級別にみると, 0ヶ月～5ヶ月の19例が最も多く, 1歳未満で30例(60.0%)を占めています。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.15で, 過去5年平均値を下回っているものの, 先週(3.34)と比べて多くなっていますので, 今後の動向にご注意ください。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.76で, 過去5年平均値(0.52)を上回っており, 先週(0.34)と比べて多くなっています。

◆ 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

- ・ 平成19年1～9月の累積報告数は11例で, 平成12年から18年までの同時期(4～22例)と比べて, 本年は平成18年, 16年について多くなっています。詳細は, トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告は, 今週はありませんでした。これまでの累積件数については, 別紙に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 6例(喀痰塗抹陽性 4例)【4月以降の累積報告数 278例(喀痰塗抹陽性 84例)】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT2) 1例(第41週追加分)
- ・ 五類:後天性免疫不全症候群(無症候期) 2例(第42週追加分含む)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.15	211
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	31
	③ 水痘	0.61	25
	④ 突発性発しん	0.41	17
	⑤ 手足口病	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

病原体情報

ありません。

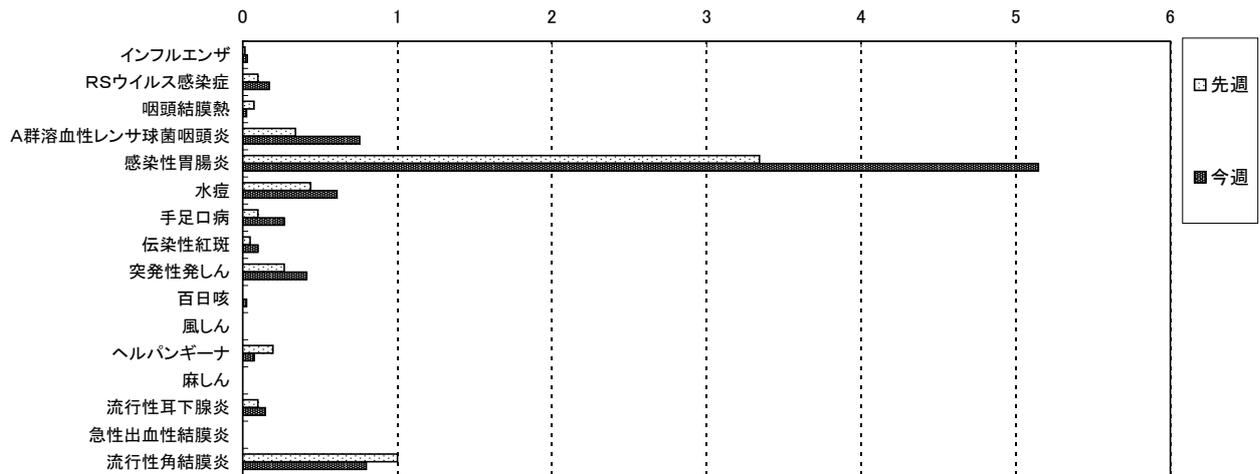
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

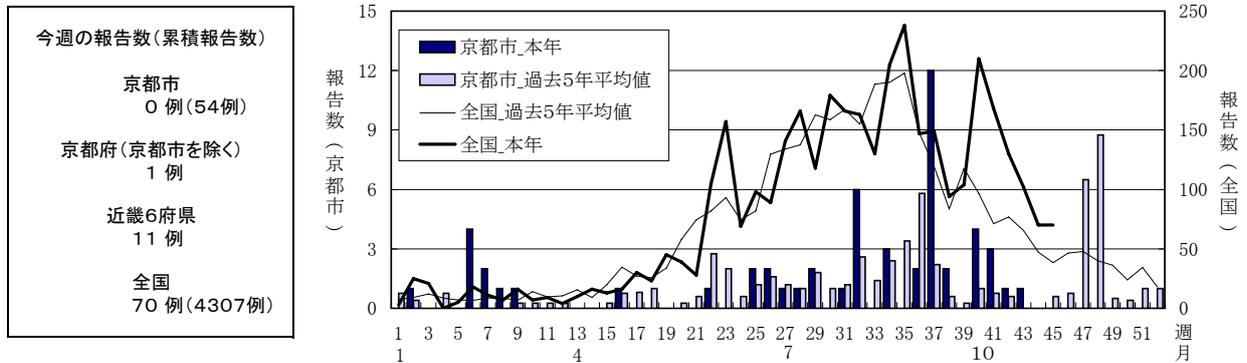
(注)京都市のデータは, 平成19年11月16日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在の保健所での集計で, 患者の住所を示すものではありません。病原体情報は, 病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第45週)と先週(第44週)の定点当たり報告数の比較

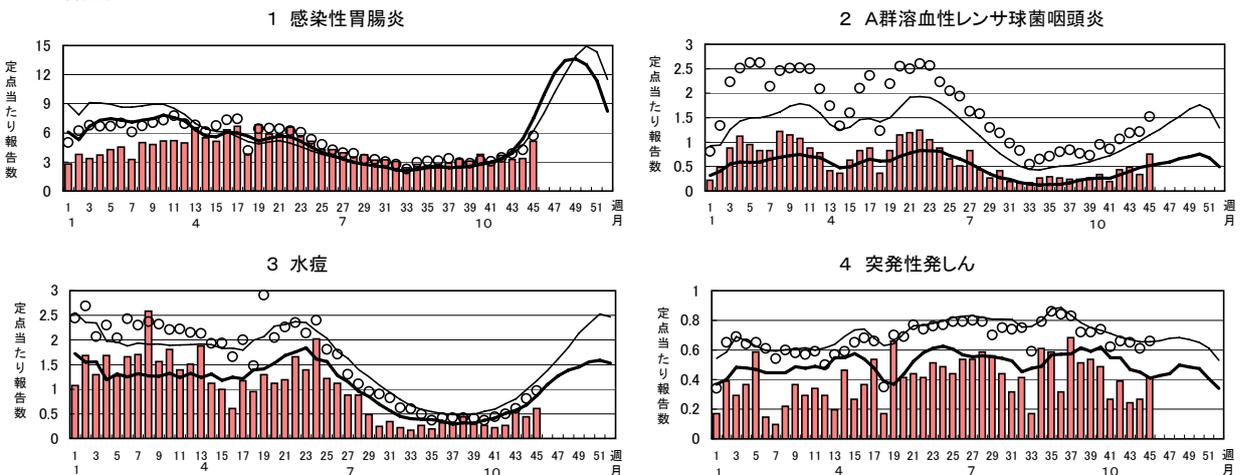


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

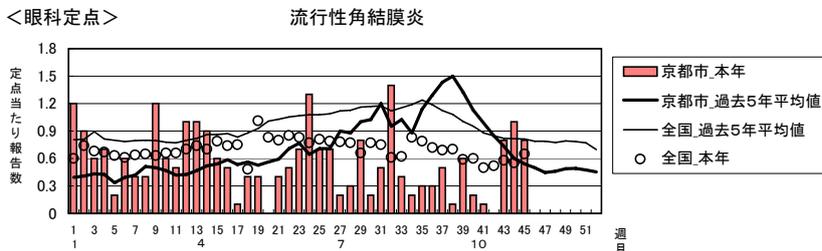


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第45週)のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

平成19年1月～9月の累積報告数は11例で、平成12年から18年の同時期(4～22例)と比較すると、本年は平成18年、16年について多くなっています。年間報告数では、平成18年が最も多くなっています。全国では、HIV感染者、AIDS患者ともに、平成18年が最も多く、特にHIV感染者では、増加が顕著となっています。

平成19年1月～9月の累積報告数をみると、次のとおりです。

- ① HIV感染者 7例、AIDS患者 4例で、男 10例、女 1例となっています。全国でも型別では、HIV感染者が、性別では男が多い傾向となっています。
- ② 年齢階級は、HIV感染者は30歳代(4例)で最も多く、ついで20歳代(2例)、40歳代(1例)の順となっており、AIDS患者は20歳代～50歳代以上の各年代で1例ずつ報告があります。全国では、HIV感染者は、20～30歳代に多いものの、10歳代からの報告も8例(男 7例、女 1例)あります。AIDS患者は、30歳代が最も多くなっています。
- ③ 推定感染経路は、HIV感染者では、性行為(同性)での感染(4例)が最も多くなっていますが、AIDS患者では、性行為(同性)の報告はなく、性行為(異性)で2例、その他、不明で2例の報告となっています。全国では、HIV感染者は性行為(同性)が性行為(異性)の約3倍と最も多くなっています。AIDS患者では、性行為(異性)、性行為(同性)がほぼ同程度となっています。

京都市では、各保健所で週に1回、HIV(エイズ)検査を無料で行うとともに、毎月第2、第4木曜日の夜間にもHIV(エイズ)即日検査を行っています。詳細については、地域医療課のホームページ(「地域医療課」で検索)をご覧ください。

京都市及び全国の平成12年以降の1月～9月の累積及び年間報告数

	京都市			年間 (〇はHIV感染者)	全国		
	1月～9月の累積				年間		
	HIV感染者	AIDS患者	小計		HIV感染者	AIDS患者	小計
平成12年	2	2	4	6(3)	462	329	791
平成13年	4	1	5	6(4)	621	332	953
平成14年	3	4	7	9(5)	614	308	922
平成15年	6	2	8	11(9)	640	336	976
平成16年	11	2	13	21(19)	780	385	1,165
平成17年	3	2	5	9(6)	832	367	1,199
平成18年	14	8	22	25(17)	952	406	1,358
平成19年	7	4	11	—	—	—	—
総計	50	25	75	87(63)	4,901	2,463	7,364

※ 報告年月日での集計

京都市及び全国の平成19年(1月～9月)の累積報告数

(型別、性別、年齢階級別、推定感染経路別)

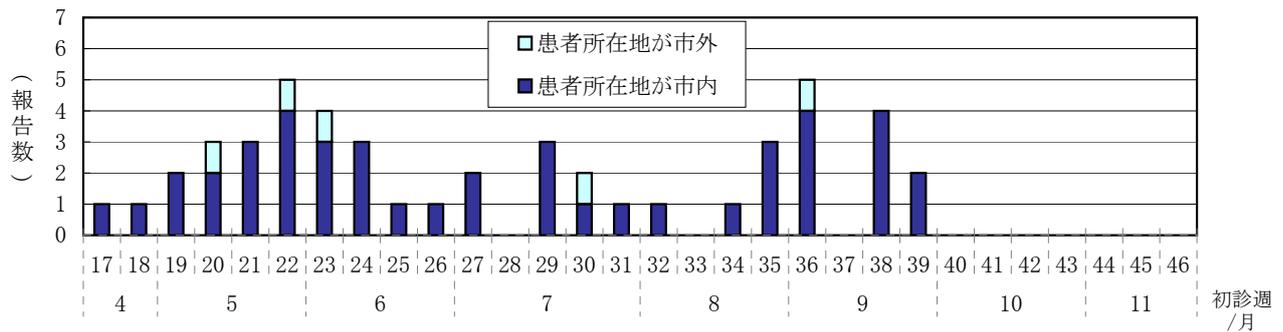
	京都市(n=11)		全国(n=1,076)		
	HIV感染者	AIDS患者	HIV感染者	AIDS患者	
性別	男	6	4	711	277
	女	1	0	60	28
年齢階級	10歳代	0	0	8	0
	20歳代	2	1	218	36
	30歳代	4	1	326	108
	40歳代	1	1	137	74
	50歳代以上	0	1	80	87
	不明			2	—
推定感染経路	性行為(異性)	1	2	161	111
	性行為(同性)	4	0	506	113
	静注薬物使用	0	0	2	2
	その他	1	1	17	14
	(内訳)				
	血液製剤 (海外での使用)	1	0		
	職務上の血液暴露	0	1		
不明	1	1	85	65	

京都市麻しん全数発生報告

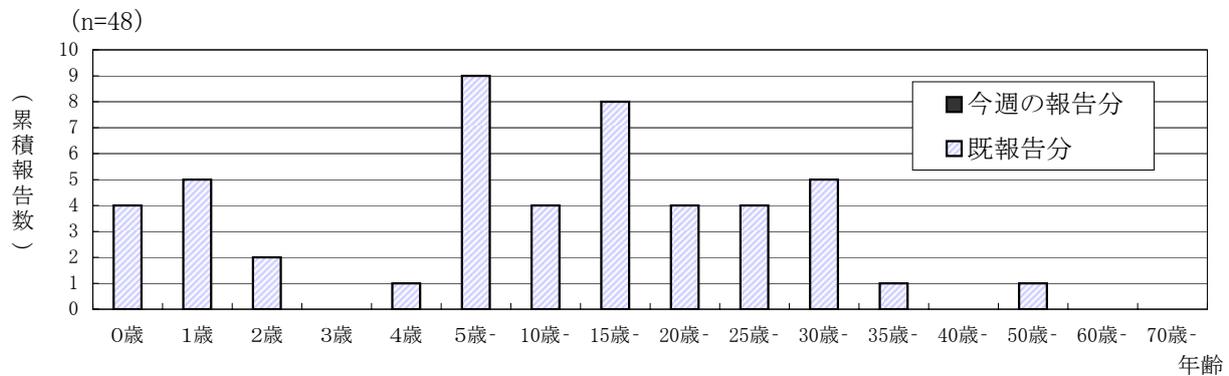
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から11月18日までの報告を初診週別に集計しています。(累積件数 48例)

1 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



2 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41, 成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第45週

疾病,保健所別報告数

平成19年11月5日～平成19年11月11日

データ入手日:平成19年11月16日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	1	-	-	-	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	7	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	3	6	1	5	-	1	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	-	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	1	1	-	-	7	4	-	-	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	7	24	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	17	3	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	5	-	5	49	1	2	-	7	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	12	62	7	1	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	2	7	1	31	211	25	11	4	17	1	-	3	-	6	-	8	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	0.14	-	-	-	1.00	0.25	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.75	0.50	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1.00	2.00	0.33	1.67	-	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	-	15.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	0.14	0.25	-	-	1.75	1.00	-	-	0.75	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2.33	8.00	1.00	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	3.40	0.60	0.20	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.71	-	0.71	7.00	0.14	0.29	-	1.00	0.14	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	3.00	15.50	1.75	0.25	0.50	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.03	0.17	0.02	0.76	5.15	0.61	0.27	0.10	0.41	0.02	-	0.07	-	0.15	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年11月5日～平成19年11月11日

データ入手日:平成19年11月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	7	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	31	1	-	-	1	4	2	4	3	4	2	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	211	2	14	35	20	16	18	16	13	10	12	9	23	3	20	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	25	1	2	5	3	5	3	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	11	-	2	1	3	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	4	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	17	-	11	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	6	-	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	2	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.17	0.05	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.76	0.02	-	-	0.02	0.10	0.05	0.10	0.07	0.10	0.05	0.20	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	5.15	0.05	0.34	0.85	0.49	0.39	0.44	0.39	0.32	0.24	0.29	0.22	0.56	0.07	0.49	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.61	0.02	0.05	0.12	0.07	0.12	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.27	-	0.05	0.02	0.07	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.10	0.02	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.41	-	0.27	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.15	-	-	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.20	0.10	0.10	-	0.20	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年11月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	1	1	2
RSウイルス感染症	1	1	1	3	4	7
咽頭結膜熱	4	6	2	-	3	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	8	18	20	14	31
感染性胃腸炎	155	124	151	133	137	211
水痘	11	9	11	23	18	25
手足口病	2	3	5	4	4	11
伝染性紅斑	2	-	-	1	2	4
突発性発しん	20	11	16	10	11	17
百日咳	-	-	1	2	-	1
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	9	6	5	8	3
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	4	6	4	4	6
急性出血性結膜炎	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	-	8	10	8
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	220	177	217	214	216	327

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	0.01	0.01	0.03
RSウイルス感染症	0.02	0.02	0.02	0.07	0.10	0.17
咽頭結膜熱	0.10	0.15	0.05	-	0.07	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.20	0.44	0.49	0.34	0.76
感染性胃腸炎	3.78	3.02	3.68	3.24	3.34	5.15
水痘	0.27	0.22	0.27	0.56	0.44	0.61
手足口病	0.05	0.07	0.12	0.10	0.10	0.27
伝染性紅斑	0.05	-	-	0.02	0.05	0.10
突発性発しん	0.49	0.27	0.39	0.24	0.27	0.41
百日咳	-	-	0.02	0.05	-	0.02
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.15	0.22	0.15	0.12	0.20	0.07
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.07	0.10	0.15	0.10	0.10	0.15
急性出血性結膜炎	-	0.10	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	-	0.80	1.00	0.80
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.52	4.47	5.29	5.81	6.01	8.56

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。